



国際青少年交換委員会 報告

御厨 尚慧

国際青少年交換委員会では、国同士の懸け橋となるような人材をつくるために、日本と海外の学生の交換留学を行い、支援活動をしております。その具体的な活動としては、来日留学生（インバウンド）の空港へのお迎え、派遣留学生（アウトバウンド）の空港へのお見送り、来日留学生への月に一回の日本語研修や日本の文化交流、派遣候補留学生への書類や英語の指導を含むオリエンテーションなどを行っております。

また、福岡南RCは留学卒業生（ROTEX）も非常に協力的であり、そのうちの一人が現在、ROTEXの会長もしております。さらに有難いことに複数の家庭がホストファミリーをしてくださり、現在、留学生へのホストをしていただいております。これは大変素晴らしいことではありますが、逆を言えば、福岡南RCの会員自体が留学生を預かれないという現状でもあります。そんな中、「他のRCの留学生に比べ、ホストとしての環境が豊かではないのではないか」との声もあがっております。

当面の課題として、現在協力していただいているホストファミリーの負担軽減のための金銭的補助の増加、福岡南RCのご家庭がホストファミリーとして挙手して下さること、福岡南RCのご家族から留学派遣学生がでていただけることが必要だと考えております。

ちなみに、あるRCでは「留学生をだした家族は、その家族が留学生を3カ月×4回ホストファミリーをする」などのルールがあると聞いております。短期間ではありますが、関わらせていただいている身としては、交換留学する国も毎年固定ではないですし、書類などのシステムも複雑化してしまっている現状に悩んでおります。福岡南RCとして恒常的に留学生を安心してお迎えすることのできるシステムとマニュアル作成をできればと考えております。

「海外にも行ったことのない私が担当していいのだろうか、仏教には国境はないし、これも修行であろう」と日々悩みながらも、つたない英語力を向上させ、精進いたしますので皆様のご支援、ご協力のほどよろしく願いいたします。

